

2024年10月18日

各位

会社名 株式会社アジュバンホールディングス
代表者名 代表取締役会長兼社長 中村 豊
(コード：4929 東証スタンダード市場)
問合せ先 管理本部本部長 惣田 健
(TEL 078-351-3135)

2025年3月期 中間期 連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2024年4月19日付で公表しました2025年3月期中間期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

1. 2025年3月期 中間期 連結業績予想と実績値との差異について
(2024年3月21日～2024年9月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A) (2024年4月19日発表)	百万円 2,247	百万円 5	百万円 5	百万円 △16	円 銭 △2.03
実績値 (B)	2,079	55	55	18	2.28
増減額 (B-A)	△167	49	49	34	—
増減率 (%)	△7.5	848.9	897.5	—	—
(ご参考) 前年同期実績値 (2024年3月期中間期)	2,213	△92	△87	△140	△17.62

2. 差異及び修正の理由

売上高は、理美容専売事業を運営する子会社アジュバンコスメジャパンにおいて、新スキンケア大型ブランド「TOUQU to tone (トーク トゥ トーン)」の上市(2024年4月)がありましたが、スペシャルケアブランド「AE Rich (エーイーリッチ)」などの下降をリカバリーすることができず前年同期を下

回りました。一方、ヘアケア商品では、昨年リニューアルした頭皮用エッセンス「KASUI プレミアムエッセンス」の売上が好調だったものの、昨年6月に上市したアウトバス・スタイリング剤ブランド「muts hair touch (ミューツ ヘア タッチ)」が前年同期を下回りました。また、E C販売事業を運営する子会社2 Cにおいて、過去購入実績者に対するキャンペーン展開などのCRM施策や新規顧客増加を企図したWeb集客導線の見直しを実施してまいりましたが、効果は未だ限定的となりました。以上のことなどからグループ全体の売上高は、計画に達することが出来ず、予想を下回る結果となりました。

損益面においては、売上高の減少に伴う変動費の減少と諸経費の削減により販売費及び一般管理費の総額は計画を下回り、利益は予想を上回る結果となりました。

以上